

レビュー研究用フォーム		データ記入欄		
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫		
	タイプ			
タイトル情報	論文の英語タイトル	Surgical treatment of brain metastases from melanoma: a retrospective study of 91 patients.		
	論文の日本語タイトル			
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)		
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ17-9		
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)		
	Pubmed ID			
	医中誌 ID			
	雑誌名	J Neurosurg.		
	雑誌 ID			
	巻	93		
	号	1		
	ページ	9-18		
	ISSN ナンバー	0022-3085 (Print)		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)		
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)		
	発行年月	2000		
	著者情報		氏名	所属機関
		筆頭著者	Wronski M,	Neurosurgery Service, Memorial Sloan-Kettering Cancer Center, New York, New York 10305, USA.
その他著者 1		Arbit E.		
その他著者 2				
その他著者 3				
その他著者 4				
その他著者 5				
その他著者 6				
その他著者 7				
その他著者 8				
その他著者 9				
その他著者 10				

レビュー研究の6項目	目的	脳転移切除後の予後に関わる因子を明らかにする
	データソース	
	研究の選択	
	データ抽出	
	主な結果	脳転移切除 780 例 生存期間中央値 全：6.7 月、単発：7.8 月、多発 5.4 月 手術前に神経症状がなく、肺や他の臓器に転移がない患者が良い。
	結論	単発、手術前に神経症状がなく、肺や他の臓器に転移がない患者については、脳転移の切除は緩和的に価値があると統計学的に言える。
レビューワーコメント	備考	
	レビューワー氏名	宇原 久
レビューワーコメント	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ） 脳転移の切除を行う際の患者選択に有益な因子を明らかにしている。